

## 介護福祉コース紹介

◆本学では社会福祉士と介護福祉士のWライセンスを同時に目指す学びができます。

本学の介護福祉コースでは、国家資格である「社会福祉士」をベースに、「介護福祉士」の学びを通して、高齢者や障がい者等の支援をはじめ、家族、地域、医療など、さまざまな分野で活躍できる、福祉専門職としての総合的な力を修得することができます。

超高齢社会を迎えるにあたり、より専門性が高く、中核的な役割を果たす介護福祉士の養成が求められています。多職種と連携・協働し、チームマネジメントできる実践力を磨きます。

日常生活に支障がある人の複雑・多様化する介護ニーズに対して、エビデンスに基づく生活支援が提供できるよう、学内の講義・演習、実習を通して実践力を養います。  
写真(右)は、医療職との連携のもとで行う、喀痰吸引等の「医療的ケア」の演習場面です。



### ◆介護福祉士養成教育カリキュラム

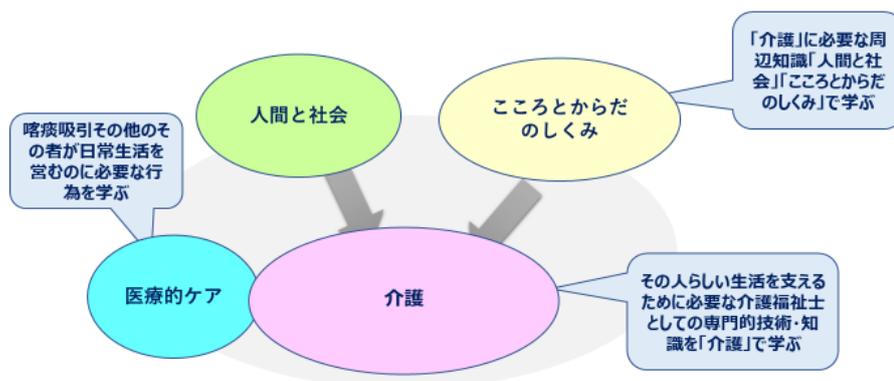
「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」の3領域＋「医療的ケア」

介護福祉士の養成カリキュラムは、介護が実践の技術である特性から

- その基盤となる教養や倫理的態度の涵養に資する領域「人間と社会」
- 「尊厳の保持」「自立支援」の考え方を踏まえた、生活を支えるための領域「介護」
- 多職種協働や適切な介護の提供に必要な根拠としての領域「こころとからだのしくみ」

以上の3領域に科目が設定されています。

加えて医療職との連携のもと生活を営むのに必要な喀痰吸引等の「医療的ケア」を学びます。



## ◆本学の介護福祉士養成カリキュラム

本学は4年間の積み上げができるように1年次から専門科目を設けています。

生活支援に関する専門的な知識・技術を多領域から学び、段階的な実習を通して、支援・介護を必要とする人が自立に向けて、その人らしい生活ができるよう個別援助過程を学びます。

## 介護福祉コース介護福祉士教育カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育力</li> <li>・研究力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護実習Ⅰ</li> <li>・介護総合演習Ⅰ</li> <li>・介護過程の展開と実践Ⅰ</li> <li>・介護技術演習Ⅰ</li> <li>・介護技術演習Ⅱ</li> <li>・介護概論Ⅰ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護実習Ⅱ</li> <li>・介護総合演習Ⅱ</li> <li>・介護過程の展開と実践Ⅱ</li> <li>・形態別介護技術演習Ⅰ</li> <li>・形態別介護技術演習Ⅱ</li> <li>・家政学概論</li> <li>・家政学演習Ⅰ・Ⅱ</li> <li>・レクリエーション活動援助法Ⅱ</li> <li>・介護概論Ⅱ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護総合演習Ⅲ</li> <li>・介護過程の展開と実践Ⅲ</li> <li>・形態別介護支援技術Ⅲ</li> <li>・形態別生活支援技術Ⅳ</li> <li>・リハビリテーション論Ⅱ</li> <li>・ケアマネジメント論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護実習Ⅲ</li> <li>・介護総合実習Ⅳ</li> <li>・介護過程の展開と実践Ⅳ</li> </ul>	介護領域
<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用力</li> <li>・発展力</li> </ul>	他	他	他	他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践力</li> <li>・統合力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人・障害者の心理Ⅰ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学一般</li> <li>・認知症ケア論Ⅰ</li> <li>・認知症ケア論Ⅱ</li> <li>・精神医学</li> <li>・老人障害者の心理Ⅱ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオメカニクス</li> <li>・障害の理解</li> <li>・医療的ケアⅠ</li> <li>・医療的ケアⅡ</li> <li>・医療的ケア演習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここらからだのしくみ領域 + 医療的ケア</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門基礎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康科学</li> <li>・法学・心理学・社会学</li> <li>・高齢者の理解と援助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障論Ⅰ</li> <li>・障害者福祉論Ⅰ</li> <li>・医療福祉論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的扶助論</li> </ul>		人間と社会領域
<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門福祉</li> <li>・教養教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉論Ⅰ</li> <li>・社会福祉原論Ⅰ</li> <li>・社会福祉援助技術論Ⅱ・Ⅲ</li> <li>・相談援助演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉と計画</li> <li>・地域福祉論Ⅱ</li> <li>・相談援助演習Ⅰ・Ⅱ</li> <li>・児童福祉論 他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助演習Ⅲ</li> <li>・相談援助実習</li> <li>・相談援助実習指導Ⅰ・Ⅱ 他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉原論Ⅱ</li> <li>・社会福祉援助技術論Ⅳ</li> <li>・福祉と経営</li> </ul>	幅広い福祉と教養科目
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養科目、・外国語、・情報科学、・健康スポーツ</li> </ul>				

## ◆介護の専門性の追究とこれからの地域共生社会に向けた実習教育

大学が指定する施設・護事業所において、段階的な実習をおこないます。実習では利用者の尊厳を支える理念のもとに、要支援・介護状態の人の自立支援となる生活支援技術を実践する力をつけます。

介護実習Ⅰ：1年次(12日間) 高齢者介護施設利用者の理解と介護技術の実際を学びます。

介護実習Ⅱ：2年次(23日間) 高齢者介護施設で、個々のニーズに応じた個別援助計画を展開し、多職種連携の重要性について学びます。

介護実習Ⅲ：4年次は、障がい支援施設(6日間)で利用者の特性に応じた支援や、訪問介護事業所(17日間)で居宅サービスの実践を学び、地域支援のあり方を考えます。

## ◆次世代を担う福祉専門職として活躍

ダブル資格の取得を目指し、4年間頑張っています。

第30回介護福祉士国家試験合格率 100%(全国平均70.8%)

介護福祉士・社会福祉士国家試験のW合格率 87.5%(社会福祉士全国平均30.2%)

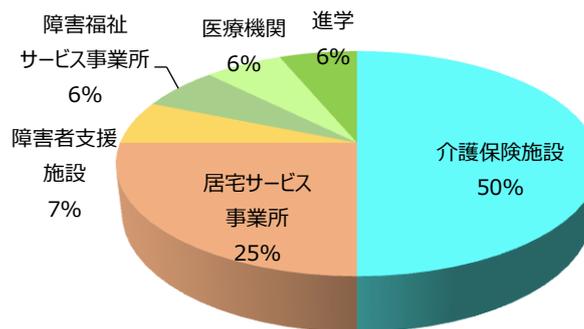
### ◆在学生からのメッセージ

- 大学で介護の講義や演習・実習を経験していくうちに、介護の専門性や利用者主体の視点、倫理やリスクマネジメント等の大切さを知り、自分が介護される立場であれば、しっかりと学んで知識を持っている介護福祉士に対応してもらいたいと考えるようになりました（3年Eさん）。
- 大学での学びを通して、単なる身体的介護技術の実践ではなく、利用者理解とその支援のためにあらゆる福祉の視点を活用し、利用者の人生への関わりに責任を持つことができるのではないかと考えるようになりました（3年Iさん）。
- 両資格取得をめざした学びから、多角的視点を持って課題解決に向けて行動することができ、多様な技術や知識、多職種との連携を良好に活用し、信頼を得ることができるのではないかと思います（3年Kさん）。



## ◆卒業生の進路状況

介護老人福祉施設をはじめ、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、障がい者支援施設等、様々な社会福祉施設や医療機関等に就職しています。



図Ⅱ 2017年度卒業生の進路状況

## 2017年度卒業生の進路先

- ・社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団
- ・社会福祉法人 芳洋会
- ・社会福祉法人上伊奈福祉協会
- ・社会福祉法人 読売光と愛の事業団
- ・社会福祉法人 東京栄和会なぎさ和楽苑
- ・社会福祉法人 永寿荘
- ・社会福祉法人 三徳会
- ・社会福祉法人 悠游
- ・社会福祉法人 栄光会
- ・株式会社日本ケアリング
- ・特定非営利活動法人暮らしネットえん
- ・医療法人財団 秀行会
- ・医療法人社団輝生会
- ・社会福祉法人翠浩会
- ・看護専門学校

## ◆卒業生からのメッセージ

介護職 長谷部さん 2018年3月卒業 社会福祉法人 三徳会勤務

私は、老人短期入所施設の介護職員として働いています。施設に来るご利用様は数週間だけの入所となるので、性格や必要な支援について把握する事がとても難しいです。大学の実習で学んだ「誰が読んでも分かる記録を作成する事」がとても役立っています。ご利用様に関する情報を職員間で共有し、日々より良いケアを目指しています。

介護職 鈴木さん 2016年3月卒業 社会福祉法人 あいのわ福祉会

私は、卒業して2年目になります。現在は身体障害者の入所施設で働いています。介護は介助技術を学ぶだけではありません。人の身体を知る為の医学的知識、健康を保つ為の栄養学、信頼関係を気づく為の心理学など人の全てを学ぶことが出来ます。介護を学ぶ上でそれが魅力であり、面白さだと思います。

介護職員 中島さん 2012年3月卒業 特別支援学校

私は、訪問介護の仕事を経て、現在は、特別支援学校の介護職員をしています。障害児の学校生活の中での介助が主な業務です。大学では専門的な勉強ができ、色々な視点から物事を捉える力がつくと思います。大学での四年間は私の原点です。様々な経験や出会いから、自分を深めていってください。

### ◆修学資金貸付制度◆

介護福祉士養成課程履修者は、公的修学資金が利用可能。

介護福祉士資格取得を目指す学生は、各都道府県の「修学資金貸付制度」を利用することができます。月額5万円以内のほか、入学・就職準備金としてそれぞれ20万円以内、国家試験対策費として4万円以内の借り受けができます。貸付期間は入学時から4年間です。介護業務等に5年間就業し場合は、返済が免除されます。

東京都介護福祉士修学資金貸付事業

(東京都社会福祉協議会 HP : <https://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai/faq.html>)